

貴社、益々ご繁栄のこととお喜び申し上げます

昨今、データセンターを取り巻く環境はビッグデータ・クラウド等をはじめとして急速な進化を続けていますが、それに伴い世界中のデータセンター管理者は、電力、冷却、スペースに関する制限に直面しています。

こういった事態に日本国内でも政財界を挙げてデータセンターの効率化を推進の動きが出ています。

背景には IT 技術の急速な進化はもとより、世界規模で推進されている「CO2 削減問題」、資源保全を前提に進められている「グリーングリッド」、東日本震災以降の電力料金の高騰などがあります。

こういった変化に対応すべくデータセンターの管理者は日々奮闘されていますが、従来の紙・Excel 等のツールを駆使してデータ管理を行っているデータセンターが多いのも事実です。

★ファシリティに特化した DCIM「DC VISOR」をご紹介します。

- ・ビッグデータをファシリティ（構成管理）の面から支えます。
- ・全体像の把握、運用効率の向上はデータセンターの見える化からです。
- ・コストを掛けずにエネルギーの見える化をします。

★特徴

- ・データセンターの拡張と変更にも素早く、正確に対応する仕組みです。
- ・ラック構成 DB の情報から搭載図を自動生成し、煩雑なドキュメント管理からあなたを解放します。

★ライセンス

DC VISOR Small の十数ラック対応から DC VISOR 1000、DC VISOR Unlimited の数千ラック管理できるライセンス体系があります。

見える化の目的 データセンターの全体像を把握出来、運用効率が向上

離れた場所のラックを 1 画面に
自動作成されたラック実装図

管理機器の変更処理

センター全体の電力、重量、ラックユニット
リソース状況が見えるダッシュボード